

IV 資料

1 年間指導目標設定シート

記録日 2000年 〇月〇〇日 記録者 〇〇
小学部 〇年 児童氏名 〇〇 〇〇

1 実態把握 1 ～行動観察から～

◎：よさ（得意なこと・興味関心）

△：困っていること（子どもが困っていること・大人が「こうなってほしい」と思うこと）

・：その他の指導に活かせる実態

※必要な支援や環境設定と併せて記入する。（「〇〇があれば～できる。」）

※点線の下には「 」の項目にあてはまらないが、記載が必要だと思われる実態を記入

健康の保持 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整 (5)健康状態の維持・改善に関する事	「着替え」 「食事」 「排泄」 「健康上の配慮事項」
心理的な安定 (1)情緒の安定に関する事 (2)状況の理解と変化への対応に関する事 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	「苦手な状況や場面」
人間関係の形成 (1)他者とのかかわりの基礎に関する事 (2)他者の意図や感情の理解に関する事 (3)自己の理解と行動の調整に関する事 (4)集団への参加の基礎に関する事	「大人とのかかわり」 「子どもとのかかわり」 「集団参加」
環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関する事 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 (3)感覚の補助および代行手段の活用に関する事 (4)感覚を統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	「文字・言語（国語面）」 「表現方法（図工・音楽面を含む）」 「数量・図形（算数面）」
身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 (2)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事 (3)日常的に必要な基本動作に関する事 (4)身体の移動能力に関する事 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	「体の動き（姿勢・移動）」 「手指の操作」
コミュニケーション (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事 (2)言語の受容と表出に関する事 (3)言語の形成と活用に関する事 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事	「コミュニケーションの理解」 「コミュニケーションの表出」
特記事項 （性格、行動特徴、興味関心など）	「興味関心」 「障害特性による配慮事項」

2

実態把握2 ～本人及び保護者の願いから～

※「何（どんな面、どんな課題）を目標として取り上げるか」を考える際の参考に

・ ・ ・	
(1)子どもに関する「困っていること」 (2)子どもに「できるようになってほしいこと」  個別面談での聞き取り	(1)家庭での生活の様子 (2)子どもの様子で困っていること (3)子どもの将来について (4)学校・学部・担任への希望や意見  家庭環境調査書

3

実態把握3 ～発達段階から～

※「1 行動観察」で見られた行動の理由、背景を考える際の参考に

※目標設定を考える際の客観的指標として（発達段階から考えて、適切な目標か）

（1）KIDS による発達プロフィール

運動	操作	理解言語	表出言語	概念	社会性(子)	社会性(大人)	しつけ	食事
								
歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月	歳 ヶ月

（2）太田ステージ評価

ステージ	ステージの段階	本人の課題
—	・	・ ・ ・ ・

4

将来像の設定

※それぞれにおける場面で、「よさ」を発揮したどんな姿が想像できるか考える。（年度末に修正）

家庭	職場	余暇
家庭では、	職場では、	余暇では、

5

年間指導目標及び指導場面の設定

- (1) 課題（目標として取り上げる実態）と、その背景
 (2) 指導に活かせる「よさ」
 (3) 指導仮説：このような指導をすれば、こんな姿が見られるようになって考えた

↓
 (3) の指導仮説から年間指導目標を考える。

↓
 (3) をもとに「年間指導目標」に対する具体的な指導を課題分析的に考え、具体的な指導場面と指導内容を設定する。

↓
 半期の実践を通して有効な「手立て」を具体的にしていく。

「よさ」又は「困っていること」から年間指導目標までの考え方

- (1)
 (2)
 (3)

年間指導目標（伸ばしたい力）

手立て（配慮事項含む）

①

（〇〇する力）

指導場面	指導内容	目指す姿
例) おべんきょうタイム		
※具体的な授業名・指導形態を設定		
例) 生活単元学習「 〇〇 」		
※生活単元学習の場合は具体的な単元や活動内容を設定		
例) 日常生活の指導（給食）		
※日生の場合は具体的な活動を設定		

6

記録と分析（形成的評価） 及び 評価（総括的評価）

※【記録】はエピソード記録的に「①活動や支援、②子供の行動や様子」を記録する。

※【分析】は【記録】の子供の行動や様子の「背景や理由」を考えたり、「目標、学習活動の設定、手立て」が適切だったかを見直したりする。「適切だった場合は、どんな点がよかったのか」「適切でなかった場合は、何を修正するか」を考え、記載する。次の課題や取組が明確になった場合は、分析に記載する。

※【評価】は個別の指導計画に記載するものとして、「記録と分析」を受けて、「指導内容」「その場面での具体的な手立て」「子供の姿（変化）」「次のステップ」等を記載する。

※月ごと、または単元・題材ごとに評価を行う。（時間としては学研で月に1回時間を設ける）

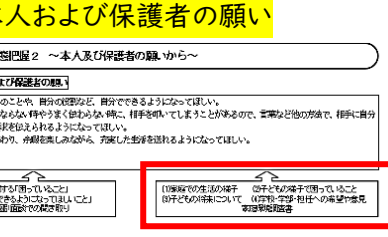
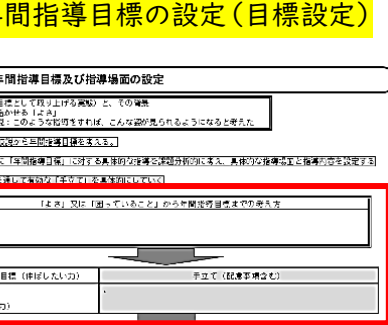
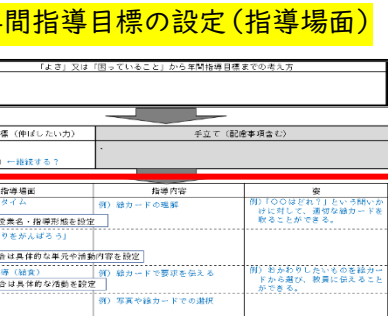
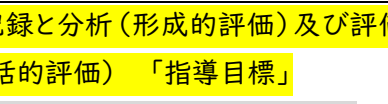
※随時、シートの①～⑤の部分を修正する。具体的な手立てが見えたら「④年間指導目標及び～」の手立てに記入する。

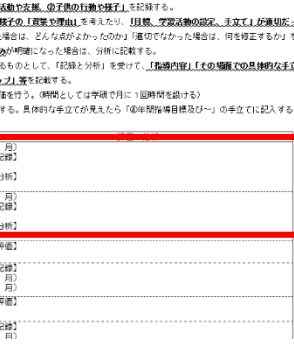
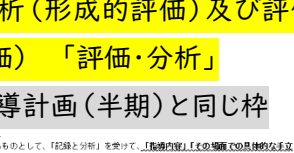
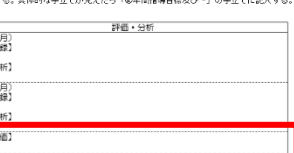
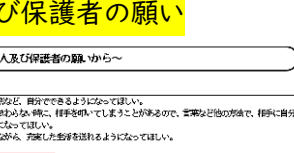
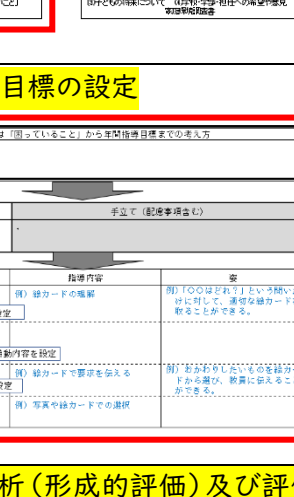
	指導目標	評価・分析
日常生活	①	(月)
	②	【記録】 ・ 【分析】 ・
		(月) 【記録】 ・ 【分析】 ・
		【評価】 ・
生活	(他) ※着替え、食事、排せつ等、個別に目標を設定	【記録】 (月) (月) 【評価】
	(例) ①～することができる。 (他)～で…することができる。 ※設定当初に単元が決まっているものは、単元目標を書く。	「単元名」 【記録】 ・ 【①に関する分析】 ・
	(他)	「単元名」 【記録】 ・
	②～することができる。 (他)～で…することができる。	「単元名」 【記録】 ・ 【②に関する分析】 ・
		【評価】 ① ② (他)

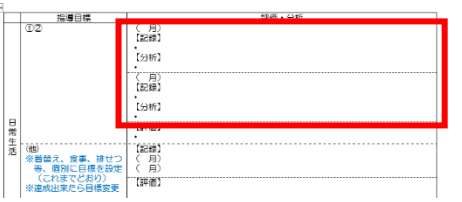
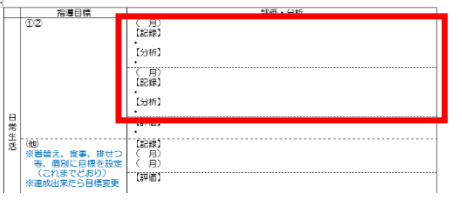
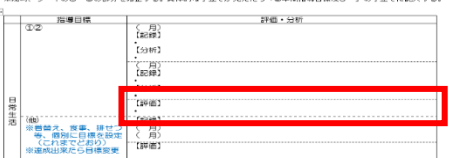
お べ ん き よ う タ イ ム	①② ※年間指導目標に関 わる目標で、指導場 面を限定したもの	(月) 【記録】 ・ 【分析】 ・
		(月) 【記録】 ・ 【分析】 ・
		【評価】 ・
	(他) ※授業目標を踏まえ つつ、国語、算数、 自立活動の目標を 具体的に設定	【月または題材ごとの記録】 (月) (月) 【評価】
音 楽 ・ 図 工 ・ 体 育	(他) ※授業計画の目標か ら、重点目標を選 ぶ。 ※学習指導要領の段 階を参考に、授業目 標を個々に合った 目標にする。	【題材ごとの記録】 ・ ※エピソード記録的に題材ごとの児童の様子を記録する。 【評価】 (他)
全 教 育 活 動	① ※指導場面を限定せ ず、常時取り組む目 標はこちらに入力 する。評価は、個別 の指導計画の「特記 事項」に記載する。	(月) 【記録】 【分析】
		(月) 【記録】 【分析】
		【評価】 ・
	②	(月) 【記録】 【分析】
		(月) 【記録】 【分析】
		【評価】 ・

2 目標設定から評価の流れ

時期	目標設定シートの項目		ポイント
1月 ～ 3月	3 発達段階に基づく実態 	KIDS 検査 担任が実施	・以下の項目の 発達段階の把握 及び、 個人内差の把握 「運動・操作・理解言語・表出言語・概念・対子供の社会性・対大人の社会性・しつけ・食事」 ・目標設定の際に参考とする。
	4 将来像 →個別の教育支援計画に転記	担任が修正	
3月	2 本人および保護者の願い 	アンケート ⇒個別面談	・子供に関して保護者が「困っていること」「できるようになってほしいこと」と感じていることの把握 ⇒前担任が修正をし、引き継ぐ。 ※個別の教育支援計画の「本人及び保護者の願い」に加筆、修正する。
3月	1 行動観察に基づく実態 ※個別の指導計画 年間①と同じ枠 	担任が修正	17 項目 +それ以外の自立活動に関わる実態 年間指導目標、半期の「(他)の目標=教科等の目標」に関わる実態、また引継ぎのために必要な実態を漏れなく書けるように小学部で設定
※ここまでは、前年度に担任がシートを修正しておき、新年度の担任に引き継ぐ。			

4月	1 行動観察に基づく実態 ※個別の指導計画 年間①と同じ枠	担任	※担任が毎年、実際の児童の様子を見たうえで加筆、修正する。 ・実態に「◎：よき」と「△：困っていること」をつけ、整理する。
4月	2 本人および保護者の願い 	家庭環境調査書	・家庭環境調査書の内容(特に困っていること・学校への希望)を確認 ⇒本人及び保護者の願いを修正する。 ※面談時には、修正した個別的教育支援計画の確認を保護者を行う。
4月～ 5月	5 年間指導目標の設定(目標設定) 	担任 ⇒学部会で検討 ⇒個別面談	・「1 △の実態」「2 困っていること、できるようになってほしいこと」から課題を把握する。 ・「(1) ◎の実態」から指導に活かせる「よき」を考える。 ・その結果、どういう姿を目指すかを考える。 ⇒上記の3点を整理し、「年間指導目標までの考え方」に記載する。
4月～ 5月	3 発達段階に基づく実態 	太田ステージ検査 (3～6年生) おんきょうタイム担当 ⇒学部会で共有	・表象機能(シンボル機能)の発達段階の把握
4月～ 5月	5 年間指導目標の設定(指導場面) 	担任 ⇒学部会で検討	・年間指導目標に関わる課題を、課題分析的に考える。 ・具体的な「指導場面」「指導内容」「(目指したい)姿」を考える。 ※具体的に指導を考えられることにし ばる。 ※授業計画を参照する。
5月	6 記録と分析(形成的評価)及び評価(総括的評価) 「指導目標」 ※個別の指導計画(半期)と同じ枠 		・「5 年間指導目標の設定」で考えた中から目標立てをして取り組む内容を選択し、前期の指導計画に記載していく。

5月 ～ 7月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価）「評価・分析」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 	担任 ⇒担任間で共有	・月または単元・題材ごとに、形成的評価を行う。 ・【記録】：「①活動や支援」に対する「②子供の行動や様子」 ・【分析】：【記録】にある「子供の行動や様子」の「背景や理由」「目標、学習活動の設定、手立て」の見直し 適切だった場合…何がよかったのか 適切でなかった場合…何を修正するか 次の課題や取り組みは何か ⇒気づいたことがあれば、記録していく。
7月 ～ 8月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価）「評価・分析」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 	担任 ⇒個別面談 ⇒学部会で検討	・【評価】：「記録と分析」を受け、「指導内容」「その場面での具体的な手立て」「子供の姿（変化）」「次のステップ」等を記載（総括的評価）
7月	2 本人および保護者の願い 	アンケート ⇒個別面談	・アンケートの内容を面談で確認し、修正する。
8月	5 年間指導目標の設定 	担任 ⇒学部会で検討	・前期の評価、面談等を受け、年間指導目標を見直す。 ・前期の指導を踏まえ、後期の具体的な「指導場面」「指導内容」「（目指したい）姿」を考える。 ※具体的に指導を考えられることにし ばる。 ※授業計画を参照する。
8月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価）「指導目標」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 		・「5 年間指導目標の設定」で考えた中から目標立てをして取り組む内容を選択し、後期の指導計画に記載していく。

9月 ～ 12月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価） 「評価・分析」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 ⑥ 記録と分析（形成的評価） 及び 評価（総括的評価） ※【記録】はエピソード記録的に「①活動や支援、②子供の行動や様子」を記録する。 ※【分析】は【記録】の子供の行動や様子の「背景や理由」を考えたり、「目標、学習活動の設定、手立て」が適切だったかを見直したりする。「適切だった場合は、どんな点がよかったのか」「適切でなかった場合は、何を修正するか」を考え、記載する。 ※【評価】は個別の指導計画に記載するものとして、「記録と分析」を受けて、「指導内容」「その場面での具体的な手立て」「子供の姿（変化）」「次のステップ」等を記載する。 ※月ごと、または単元・題材ごとに評価を行う。（時間としては学期で月に1回時間を設ける） ※随時、シートの①～④の部分も修正する。具体的な手立てが見えたら「④年間指導目標及び～」の手立てに記入する。 	担任 ⇒担任間で共有	・月または単元・題材ごとに、形成的評価を行う。 ・【記録】：「①活動や支援」に対する「②子供の行動や様子」 ・【分析】：【記録】にある「子供の行動や様子」の「背景や理由」「目標、学習活動の設定、手立て」の見直し 適切だった場合…何がよかったのか 適切でなかった場合…何を修正するか 次の課題や取り組みは何か ⇒気づいたことがあれば、記録していく。
12月	個別の指導計画（半期）	担任 ⇒学部会で検討 ⇒個別面談	・中間評価：月々の「記録と評価」を総括して個別の指導計画の評価欄に記入する。
1月 ～ 3月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価） 「評価・分析」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 ⑥ 記録と分析（形成的評価） 及び 評価（総括的評価） ※【記録】はエピソード記録的に「①活動や支援、②子供の行動や様子」を記録する。 ※【分析】は【記録】の子供の行動や様子の「背景や理由」を考えたり、「目標、学習活動の設定、手立て」が適切だったかを見直したりする。「適切だった場合は、どんな点がよかったのか」「適切でなかった場合は、何を修正するか」を考え、記載する。 ※【評価】は個別の指導計画に記載するものとして、「記録と分析」を受けて、「指導内容」「その場面での具体的な手立て」「子供の姿（変化）」「次のステップ」等を記載する。 ※月ごと、または単元・題材ごとに評価を行う。（時間としては学期で月に1回時間を設ける） ※随時、シートの①～④の部分も修正する。具体的な手立てが見えたら「④年間指導目標及び～」の手立てに記入する。 	担任 ⇒担任間で共有	・月または単元・題材ごとに、形成的評価を行う。 ・【記録】：「①活動や支援」に対する「②子供の行動や様子」 ・【分析】：【記録】にある「子供の行動や様子」の「背景や理由」「目標、学習活動の設定、手立て」の見直し 適切だった場合…何がよかったのか 適切でなかった場合…何を修正するか 次の課題や取り組みは何か ⇒気づいたことがあれば、記録していく。
2月 ～ 3月	6 記録と分析（形成的評価）及び評価（総括的評価） 「評価・分析」 ※個別の指導計画（半期）と同じ枠 	担任 ⇒個別面談 ⇒学部会で検討	・【評価】：「記録と分析」を受け、「指導内容」「その場面での具体的な手立て」「子供の姿（変化）」「次のステップ」等を記載（総括的評価） ⇒この評価を受け、個別の指導計画（年間②）の評価を作成する。
1月 ～ 3月	3 発達段階に基づく実態 2 本人および保護者の願い 4 将来像 →個別の教育支援計画に転記 1 行動観察に基づく実態 ※個別の指導計画 年間①と同じ枠	担任 KIDS 検査 アンケート 担任が修正 担任が修正	※評価と並行して、来年度に向けて、実態等の修正を行い、引き継ぐ。